

ごみは、町内で、毎日13t排出されて、 その処分に毎日318,000円かかっています。

遊佐町が22年度に酒田地区広域行政組合（酒田市・庄内町・遊佐町が資金を出し合って運営しています。）に搬入したごみの量は、燃えるごみ4,152t、埋め立てごみ80t、瓶・缶・ペットボトル253t、粗大ごみ97t、合計4,583tです。ひとり当たりでは289kgになります。

組合に納めている負担金・収集運搬の費用などは、年間約1億1,600万円、ひとり当りにすると7,308円になります。もう使えないモノなのに処分するには費用がかかります。

広域行政組合では、毎月、可燃ごみにはどんなモノが入っているか、焼却する前に分析しています。それによると、「紙・布類」が約半分です。布より紙の方が圧倒的に多いと思われます。まず、紙を何とかしましょう。

過剰な包装はお断りしてください。新聞紙・ちらし・雑誌・段ボールは、紙ひもで縛って週に一度の紙類資源の日にごみステーションに出すか、まちづくりセンターなどに設置されているリサイクルステーションに運んでください。

ゴミの減量のためにまず大切なことは、ゴミになりそうなモノをお家に持ち込まないことです。

なかなか断りにくいものではありますが、例え、ただであっても必要のないものはもらわないことが肝心です。